

## 別紙様式 5

技能者とは、審査基準日以前三年間に建設工事の施工に従事した者(施工体制台帳の作業員名簿に記載された者)であって、審査基準日以前に6ヶ月を超える恒常的な雇用関係があり、かつ、雇用期間を特に限定することなく常時雇用されている者をいう(主任技術者や監理技術者等、建設工事の施工の管理にのみ従事した者は除く。)。

(用紙A4)  
和8年6月11日

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル 向上の有無	控除対象
1	狩野 生江	平成15年1月1日	令和7年8月1日	○	
2	狩野 名称	昭和51年9月9日	令和4年1月30日		○
3	狩野 姓名	昭和31年12月12日			
レベル判定の有無にかかわらず、技能者に該当する者は全て記載すること		審査基準日の三年間にレベルが1以上向上した技能者は を記入すること(評価無しからレベル1に向上了した者は除く)			
		審査基準日の三年前の日以前にレベル4の評価を受けていた技能者は を記入すること			
		その他の審査項目(社会性等)【20004帳票】項番50「技能者数」と一致			
		その他の審査項目(社会性等)【20004帳票】項番50「控除対象者数」と一致			
		その他の審査項目(社会性等)【20004帳票】項番50「技術レベル向上者数」と一致			
合計		3(人)		1(人)	1(人)

## 記載要領

- この表は、審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前三年間に、建設工事の施工に従事した者であって、建設業法施行規則第十四条の二第一項第二号チ又は同項第四号チに規定する建設工事に従事する者に該当する者(ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者は除く。)について作成すること。
- 「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。
- 「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より1以上上位であった者に該当する場合に、印を記載すること。
- 「控除対象」の欄には、審査基準日の三年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、印を記載すること。
- 本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に印が記載された者、「控除対象」の欄に印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。